

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)乙第 1 号	氏名	高塚 勉
学位審査委員	主査	齋藤 俊行	
	副査	林 善彦	
	副査	久恒 邦博	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、高齢者の増加に伴い増加傾向にある根面う蝕の新しい予防法として口腔内に使用可能な酸化亜鉛に着目し、その象牙質における脱灰抑制効果を調べたものであり、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 酸化亜鉛単体および歯磨剤に酸化亜鉛を配合したものについて、牛歯を用いて <i>in vitro</i> で実験を行い、脱灰抑制効果を確認した。さらに <i>in situ</i> 試験として被験者の口腔内にヒト・象牙質小切片を設置し、ダブルブラインド・クロスオーバー・ランダムイズド試験後に切片を取り出し、マイクロラジオグラフ法にてミネラルの喪失について解析し口腔内での効果を確認した。研究手法としては多面的であり妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で得られた結果のうち、<i>in situ</i> 試験ではう蝕危険因子である口腔細菌や唾液の性状、間食等の影響を考慮して調整した結果、酸化亜鉛の脱灰抑制効果を明らかにしている。本論文は酸化亜鉛のう蝕予防効果を多面的に評価しその機序についても幅広く考察されており、根面う蝕の新しい予防法として、今後の予防歯科学分野における研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文はう蝕予防の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			